

平成27年6月30日(火) 5校時

場所 発見の森図書館

1. 単元名 生きもの なかよし 大作せん

2. ねらい

- 生き物を採集したり、飼育や観察をしたりすることに関心を持ち、それらの育つ場所や種類による世話の仕方の違い、変化や成長の様子に気付くことができる。
- 自分達と同じように生命をもっていることに気付くとともに、生き物への親しみを持ち、大切に飼育を続けたり、自分たちが育てた生き物のことを他者に伝えたりすることができる。

(内容7 カ 情報と交流・キ 身近な自然との触れ合い)

3. 単元設定の理由

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領生活編の指導内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする。」を受けて設定したものである。本単元は、身近な生き物を探したり、それらを飼育するための環境を整えたり、さらには変化や成長に気付くために観察を続けるという活動であり、児童が日々の生活で得た知識をもとにしながら意欲的に取り組むことができる単元である。また、生き物を実際に教室で飼育するためには、採集してきた生き物に必要なえさやすみか、その他のお世話の仕方などを調べる必要がある。その際に図鑑の引き方を確実に身に付けたり自分の必要な情報を取り出す方法を学んだりすることもできる。また、継続的な飼育を通して、生き物への関わり方を学び、生命の大切さに気付くことができると考える。

また、単元のまとめとして、調べた飼育の仕方を図鑑の形にまとめ、1年生に伝える活動を行う。それにより、目次の作り方や図鑑の内容を考えることによって、より図鑑の引き方を理解することができると思う。

(2) 児童について

(省略)

(3) 指導にあたって

本教材は、児童の身近な生き物と触れ合うことにより、生き物に関心や親しみをもつことをねらいとしている。このねらいを達成するために、図書館活用教育で培っていく「目次・索引の使い方」「情報の収集」「情報のまとめ方」「情報の発表」と関連させて指導を行っていく。

本単元の学習を始める以前に、学校司書と連携して生き物の図鑑や生き物をテーマとした読み物などを集めて学級に置き、生き物に触れることが苦手な児童も採集や飼育に対して関心を高め、抵抗を少なくできるような環境を整えた。

本単元では、まず地域にどんな生き物がいるかを考え、生き物に対しての興味を高める。その後、グループで相談し、自分たちの興味のある生き物を採集しに行く活動を設定する。それをもとに学校司書は各グループが何について調べるのかを事前に把握し、必要な図鑑や資料を複数集めておくようにする。実際に採集してきた後、これまでの飼育の経験や家庭などで聞いてきた情報をもとに、飼育を開始する。しかし、飼育を続ける中で、人

から聞いて得た情報だけでは、きっと飼育が上手いかなくなり、生き物が弱ってくると考えられる。その活動の中で、児童は飼育している生き物を元気に大きく育てるためにはどうしたらいいのかという思いを持ち、それぞれの状態に即した次の課題を見つけるであろう。一人一人がもっと調べてみたいと感じた事柄を書き出すと共に、グループの友だちと共有し、グループとしての課題を全員で把握しておくようにする。児童から出る課題はえさ、すみか、お世話の仕方の3つの観点に分けることができると考えられる。学校司書はこの3つの観点についてどの図書資料にどのような事柄が載っているのかを確認し、パスファインダーを作成する。本時に情報を上手く取り出すことができない児童がいた場合などに、それをもとに支援を行っていくようにしたい。

本時では、これまでの飼育の中で感じてきた疑問や課題に対しての必要な情報を、一人一人が図書資料や図鑑から調べる活動を行う。飼育している生き物を、元気に大きく育てるために調べるのだというめあてを十分押さえ、活動への意欲を高めるようにしたい。

図鑑の引き方については図書館活用教育の年間計画に基づいて、昨年度から様々な教科学習の中で行ってきている。しかし、引き方が定着していない児童もいるので、目次や索引、見出しについて確認し、児童が自分の必要な情報をスムーズに探し出せるようにしたい。

また、調べた情報をカードにまとめる活動を行う。情報の内容や児童の思いによって、字で表すもの、絵で表すもの、字と絵の両方で表すものがあると考えられる。児童が調べた内容を自分の思いで表せるよう、3種類のカードを準備する。カードの書き方については司書教諭が説明を行う。図鑑の内容を全て書き写すのではなく、自分の必要な部分を取り出して書くようにし、今後の要約学習へと繋げていくことができるようにしたい。また、1項目を1枚のカードに書くようにし、グループで共有する際や図鑑作りの際の情報の整理に役立てるようにしたい。

調べる際の資料として、各グループに6～7種類程度の本を置くようにし、グループ内で様々な情報を手に入れることができるようにしたい。それ以外にも共通の資料となるような図書や図鑑を「みんなのコーナー」に置き、必要に応じて誰でも手に取ることができるようにしておく。図書の紹介を学校司書がする際に図鑑の役割にも触れるようにし、図鑑作りのヒントとなるようにしていきたい。また、図書資料や図鑑に事前に番号を書いておき、出典を記す際に番号で表すことができるようにしておく。

最後に自分の集めた情報をグループの友だちに伝え、グループとして今後どのような飼育をしていくのかを決める活動を行う。同じ課題でも友だちと違う情報を得ていることも考えられる。飼育している生き物を、今後も元気に大きく育てるためには、どの情報を選ぶべきかをみんなで話し合い、最終的に、飼育していくためのえさ、すみか、お世話の仕方がグループで決まるようにしたい。その際、担任・司書教諭・学校司書が連携を図り、各グループの話し合いがめあてにそって進んでいるかを確認するようにしたい。

4. 学校図書館の活用を通して付けたい力

学校図書館活用教育を通して、以下の力を6年間で付けていきたいと考えている。

課題設定 . . . 目的や意図に応じて学習課題を作り、課題を解決するためにどのようなことを調べる必要があるのかについて考え、具体的な問いを立てる。

図書資料の利用 . . . 目的に応じて図書資料を選んで読む。

図書資料以外の利用 . . . 新聞を利用して、広く情報を集める。
インタビューを行い、情報を集める。
インターネットを利用して、情報を集める。

目次・索引の利用 . . . 目次や索引を利用して、必要な情報を検索する。

情報の収集 . . . 目的に応じて、文章などから適切な情報を読み取る。

要約 . . . 必要な情報を自分の言葉で短くまとめる。

出典 . . . 日付や資料の題名、著者名、出版社名を記す。

情報の整理・分析 . . . 複数の情報を目的に応じて、分類、比較、関連付け、取捨選択する。

情報のまとめ方 . . . 相手や目的に応じた方法で分かりやすく情報をまとめる。

情報の発表 . . . 相手や目的を意識した発表を行う。

5. 指導計画と評価計画（全9時間）

次	時	ねらい	主な学習活動	評価	評価方法				
一	1	<ul style="list-style-type: none"> 身の周りの生き物に関心をもち、生き物のいそうな場所について友達と教え合い、採集に行く計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で見つけた生き物やその場所について教え合う。 生き物を探しに行く計画を立てる。 地域に生き物に詳しい人がいたら聞きに行く。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物に関心をもち、採集に行く計画を立てている。 	行動観察				
	2					<ul style="list-style-type: none"> 身近な地域に出かけ、工夫して生き物を採集することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所に出かけ、生き物を採集する。 生き物を採集したときのことを振り返り、観察カードを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物を採集している。 生き物の特徴に気付き、カードにまとめている。 	行動観察 観察カード
二 本 時	4	<ul style="list-style-type: none"> 採集した生き物を学校で継続的に飼うために必要なことについて図書資料を活用して調べ、自分の飼っている生き物に適したえさやすみかななどを決めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物を継続して飼うために必要なことを話し合う。 継続して飼うために必要なことについて、図書資料を活用して調べる。 図書資料の利用 情報の収集 目次・索引の利用 要約 出典 グループで情報を共有し、生き物に適したえさやすみかななど、今後の飼育の仕方を決める。 情報の整理・分析 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物を継続して飼うために必要なことを考えている。 生き物を飼うために必要なことを調べ、必要な情報をカードにまとめている。 生き物に適したえさやすみかななどを決めることができる。 	行動観察 観察カード				
	5					<ul style="list-style-type: none"> 生き物の変化や成長の様子に気付くことができる。 生き物は生命をもっていることや成長していることに気付き、親しみをもって大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物を飼うための準備をする。 継続して世話をしたり、観察したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> すみやすい環境になるよう準備をしている。 変化や成長の様子に気付き、カードにまと 	行動観察 観察カード
	6								

				<p>めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみをもって大切に世話をしている。 	
三	7 8 9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大切に育ててきた生き物について振り返り、飼育の仕方や気付いたこと、分かったことなどを、1年生に分かりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生に伝えるために、育ててきた生き物の飼い方図鑑を作る。 情報のまとめ方 ・ 1年生を招待し、自分達が飼育している生き物について、分かりやすく伝える。 情報の発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飼育の仕方などの必要な情報を落とさずに図鑑を作っている。 ・ 1年生に分かりやすく伝えることができる。 	<p>作った図鑑</p> <p>発表</p>

6. 本時の学習 (5/9)

(1) 本時のねらい

- 採集した生き物を、学校で継続的に飼うために必要なことについて図書資料を活用して調べ、自分の飼っている生き物に適したえさやすみかななどを決めることができる。(思考・表現)

(2) 本時の展開

時間	学習活動	学級全体への支援・留意点			評価(評価方法)
		T 1 (担任)	T 2 (司書教諭)	T 3 (学校司書)	
3	1. 調べる内容を確認する。 2. めあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生き物を元気に大きく育てたいという思いを持つことができるようにする。 			

〇〇を元気にかうためにひつようなことをきめよう。

5	<p>3. カードの書き方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の紹介をする。 <p>・全体でカードの書き方を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童のそばで一緒に確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校司書が説明していることを板書し、情報を探し出す際の手立てとなるようにする。 ・実物投影機を活用しながら書き方の説明をし、視覚的に理解できるようにする。 ・必要な情報だけを抜き出すようにし、要約に繋がるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料や図鑑の紹介をする。 ・目次・索引・見出しについて確認し、必要な情報が書かれている所を探し出すことができるようにする。 ・支援の必要な児童のそばで一緒に確認をする。 	
10	<p>4. 図書資料などを利用して調べ、必要な情報をまとめる。</p> <p>図書資料の利用 目次・索引の利用 情報の収集 要約 出典</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をし、分担した項目についてまとめているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童のそばで一緒に調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童のそばで一緒に調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼うために必要なことについて図書資料を活用して調べている。 【行動観察・カード】
35	<p>5. グループで飼育の仕方を決める。</p> <p>情報の整理・分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に大きく育てるといふめあてを確認し、それに沿って飼育方法を決めるよう指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループのそばで、めあてに沿って決めているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループのそばで、めあてに沿って決めているか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の飼っている生き物に適したえさやすみかななどを決めている。 【行動観察】
42	<p>6. ふりかえりをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりの視点を提示し、児童 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童のそばで一緒に 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な児童のそばで一緒に 	

	7. 次時につなげる。	<p>がどのような内容でふりかえるのか理解できるようにする。</p> <p>・今日の活動をもとに飼育の準備等をする事を伝え、意欲を高めるようにする。</p>	にふりかえりをする。	にふりかえりをする。	
--	-------------	--	------------	------------	--

(3) 予想される児童の具体的な姿

	十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を必要とする児童への指導の手立て
飼うために必要なことについて図書資料を活用して調べ、カードにまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 複数の図書資料を活用して調べ、必要な情報を整理しながらまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料を活用しながら調べ、必要な情報をまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 目次や索引から必要な箇所を探し出すことができない。 →調べたい内容を確認し、一緒に図書資料や図鑑を引くようにする。 ・必要な情報を選ぶことができない。 →調べたい事柄についてまとめるために、どの情報が必要かを一緒に探し、カードにまとめるようにする。

<p>自分の飼っている生き物に適したえさやすみかななどを決めることができる。</p>	<p>・ 複数の情報から生き物を飼うための適した内容を自分の思いを入れながら決めることができる。</p>	<p>・ 複数の情報から生き物を飼うための適した内容を決めることができる。</p>	<p>・ 複数の情報から生き物を飼うための適した内容を決めることができない。 →複数の情報の中から継続的に飼うために適した情報はどれかを、そばで一緒に考える。</p>
--	--	---	---

(4) 授業研究の視点

- ・ 複数の資料から情報を収集し、調べた情報に応じたカードにまとめたことは、生き物に適したえさやすみかななどを決めるための有効な手立てであったか。
- ・ 担任・司書教諭・学校司書の役割分担は、学習活動を展開する上で適切であったか。

<板書計画>

<p>めあて</p> <div data-bbox="124 1585 555 1709" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〇〇を元気にかうために ひつようなことをきめよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○えさ ○すみか ○お世話のしかた 	<p>スクリーン</p>	<div data-bbox="1085 1518 1380 1601" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目次 ・ ・ なかまの名前 本の前</p> </div> <div data-bbox="1085 1662 1492 1796" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>さくいん ・ ・ 生き物の名前 あいうえおじゅん 本の後ろ</p> </div> <p><カードに書くときに></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ひつようなところだけみじかく。 ○ 1まいに1つのこと。 ○ 同じことはかかない。 <div data-bbox="1066 2101 1452 2235" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ふりかえり</p> </div>
--	--------------	---